市　の　財　政

平 成 ２８ 年 ６ 月

千葉市

目　　次

Ⅰ　平成27年度下半期における予算の執行状況 ―――― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―――― 3

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高 ―――― 4

Ⅳ　企業会計の下半期の業務状況 ―――― 6

Ⅴ　平成28年度当初予算の概要 ―――― 9

表紙写真の説明

≪千葉市動物公園　ライオン≫
　千葉市動物公園では、平成28年４月28日に京葉学院ライオン校（ライオン展示場）が新たにオープンしました。
　当園では初めての大型肉食獣の展示となるとともに、県内唯一のライオンの展示となります。
　写真のライオンはトウヤ（オス５歳）で、多摩動物公園から来ました。
　皆様のご来園をお待ちしています。

※数値については、百万円単位で整理してあります。
　表示単位未満を四捨五入してあるので割合・一人あたりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

Ⅰ　平成27年度下半期における予算の執行状況

平成28年３月31日現在

一　般　会　計

平成27年度の歳入歳出予算は、当初3,902億円で、前回（12月）公表時点では、3,996億48百万円でしたが、その後、12月及び2月に補正を行い、102億44百万円を増額しましたので、最終予算現額は、4,098億92百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で2,028億55百万円、累計額で3,553億57百万円となり、一方、支出総額で1,280億77百万円、累計額で2,746億91百万円となっています。

特　別　会　計

企業会計を除く14の特別会計の総予算は、当初3,805億49百万円で、前回（12月）公表時点では、3,910億73百万円でしたが、その後12月及び２月に国民健康保険事業特別会計他で補正を行い、総額3億38百万円を増額しましたので、最終予算現額は、3,914億11百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,385億56百万円、累計で2,587億2百万円となり、一方、支出総額で1,762億58百万円、累計で3,370億54百万円となっています。

一般会計と特別会計の平成28年3月31日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分 / 会計名		予算現額 当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	歳入 収入済額（累計）	収入割合（累計）	歳出 支出済額（累計）	支出割合（累計）
一般会計		390,200	1,022	10,244	8,426	409,892	355,357	86.7 %	274,691	67.0 %
特別会計	国民健康保険事業	110,913	8,762	648	－	120,323	95,652	79.5	111,272	92.5
	介護保険事業	62,472	1,700	57	－	64,230	49,384	76.9	54,734	85.2
	後期高齢者医療事業	8,869	－	－	－	8,869	8,762	98.8	7,418	83.6
	母子父子寡婦福祉資金貸付	319	－	3	－	322	252	78.3	290	90.1
	霊園事業	841	－	－	－	841	484	57.6	710	84.4
	農業集落排水事業	501	－	－	－	501	56	11.2	104	20.8
	競輪事業	13,332	－	－	－	13,332	12,875	96.6	12,190	91.4
	地方卸売市場事業	971	－	－	6	977	678	69.4	588	60.2
	都市計画土地区画整理事業	533	－	－	－	533	31	5.8	127	23.8
	市街地再開発事業	1,373	－	－	－	1,373	79	5.8	109	7.9
	動物公園事業	1,775	－	－	56	1,830	201	11.0	1,104	60.3
	公共用地取得事業	819	－	－	－	819	0	－	5	0.6
	学校給食センター事業	2,505	－	－	－	2,505	1,236	49.3	1,894	75.6
	公債管理	175,326	－	△370	－	174,956	89,014	50.9	146,505	83.7
	小計	380,549	10,463	338	62	391,411	258,702	66.1	337,054	86.1
合計		770,749	11,484	10,583	8,488	801,303	614,059	76.6	611,745	76.3

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので合計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。

12 月 補 正 予 算

一 般 会 計	59億77百万円	
生活保護	24億45百万円	医療扶助等の増他
教育施設整備	17億83百万円	外壁改修工事他
障害者総合支援	7億45百万円	障害者福祉サービスに係る給付費の増他
民間保育園運営	5億10百万円	公定価格の単価の増等に伴う運営費の増
道路整備（債務負担行為）	（4億40百万円）	平成28年度実施予定工事の一部前倒し
特 別 会 計	56百万円	
介護保険事業	56百万円	法改正に対応するためのシステム改修
競輪事業（債務負担行為）	（8億80百万円）	千葉競輪場開催業務等包括委託

2 月 補 正 予 算

一 般 会 計	42億67百万円	
低所得者支援	25億20百万円	臨時福祉給付金
教育施設整備	8億73百万円	エレベータ設置工事、エアコン整備工事他
県事業負担金	3億58百万円	千葉港整備事業負担金他
地方創生の推進	1億56百万円	東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み他
特 別 会 計	2億82百万円	
国民健康保険事業	6億48百万円	国庫負担金等超過交付額の返還
公債管理	△3億70百万円	市債償還利子の利率確定に伴う減

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか13の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は企業会計と呼び、地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された特別会計で、他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ　市　民　負　担　の　状　況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約４割を占めています。

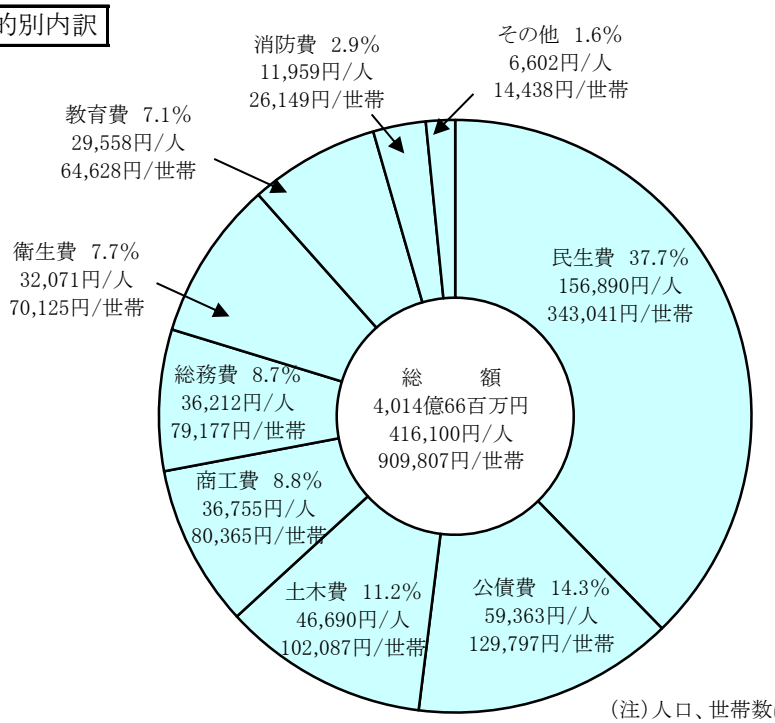
平成28年３月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,713億69百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。）となっていますので、これを平成28年３月末の人口（964,830人）及び世帯数（441,265世帯）で割りますと、市民１人あたり177,616円、１世帯あたり388,358円の負担となっています。

また、市民のために使われる経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人あたり416,100円、１世帯あたり909,807円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民１人あたりの市税負担額・・・・・・・	177,616 円	うち市民税	83,998 円
		うち固定資産税	67,313 円
		その他	26,305 円
１世帯あたりの市税負担額・・・・・・・・	388,358 円	うち市民税	183,663 円
		うち固定資産税	147,179 円
		その他	57,516 円
市民１人あたりの行政経費・・・・・・・・	416,100 円		
１世帯あたりの行政経費・・・・・・・・・	909,807 円		

行政経費の目的別内訳



（注）人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

平成28年３月31日現在

財　産　の　現　在　高

公　有　財　産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用、または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区　分			土　地	建物	船　舶	航空機	有価証券	出資による権利
公有財産	行政財産	公　用	㎡ 1,264,779.26	㎡ 257,620.31	隻 1	機 2	百万円 －	百万円 －
		公共用	14,057,930.39	2,306,569.50	－	－	－	－
		計	15,322,709.65	2,564,189.81	1	2	－	－
	普通財産		682,737.87	72,478.59	－	－	1,186	2,822
合　計			16,005,447.52	2,636,668.40	1	2	1,186	2,822

基　　金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

区　分	現在高		設置目的
文化基金	36		市民文化の振興を図るため
市庁舎整備基金	3,646	(3,540)	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
財政調整基金	3,666		財政の健全な運営に資するため
市債管理基金	113,407	(24,200)	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
社会福祉基金	118		社会福祉の増進を図るため
地域環境保全基金	482		地域の環境の保全及び創造に資するため
地下水浄化事業推進基金	15		地下水の水質浄化事業を推進するため
リサイクル等推進基金	461		廃棄物の減量、再利用及び適正処理を推進するため
緑と水辺の基金	2,739	(2,600)	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
都市モノレール基金	756		都市モノレールの更新等に必要な資金を積み立てるため
マリン基金	10		QVCマリンフィールドに係る施設の充実及び地域交流の活性化を図るため
美術品等取得基金	1,024	(400)	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介護給付準備基金	2,564		介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
競輪事業基金	0		競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
東日本大震災復興基金	87		東日本大震災からの復興に関する事業の資金に充てるため
教育みらい夢基金	23		夢とおもいやりの心を持ちチャレンジする子どもの育成や学校施設整備等の資金に充てるため
東日本大震災復興交付金基金	2,529		東日本大震災復興特別区域法に規定する復興交付金事業等に必要な経費の財源に充てるため
合　計	131,564	(30,740)	

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、合計が一致しない場合があります。

（注）現在高欄にある（　）内の額は、基金残高のうち一般会計への貸付分になります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の市税や国庫補助金のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

区分	現在高	借入先				
		公的資金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	その他	
一般会計	690,863	56,990	19,219	76,689	144	537,821
特別会計	28,621	3,594	10	2,768	1,768	20,481
市街地再開発事業	12,261	251	0	0	0	12,010
公共用地取得事業	6,146	0	0	0	0	6,146
その他	10,214	3,343	10	2,768	1,768	2,325
合計	719,484	60,584	19,229	79,457	1,912	558,302

（注）現在高には、市債管理基金積立額は含みません。

（注）企業会計分の市債の現在高は、Ｐ８に掲載しています。

一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、銀行等から予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高累計	今期中償還高累計	今期末残高	今期中最高借入額
一般会計	50,000	0	0	0	0	0

Ⅳ　企業会計の下半期の業務状況

平成28年３月31日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、268,438人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	１日平均	外来患者数	１日平均	
	床	人	人	人	人	
青葉病院	380	54,185 (48,446)	296 (266)	103,916 (99,529)	866 (836)	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、救急科
海浜病院	287	35,612 (38,349)	195 (211)	74,725 (75,149)	623 (588)	内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、小児科(新生児)、小児外科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、心臓血管外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、病理診断科

（　）は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、48,261,952㎥となっています。

行政区域内人口	964,830 人	整備区域内人口	938,301 人
下水道処理人口普及率	97.3 %		
接続戸数	426,417 戸	うち今期中増加接続戸数	2,766 戸
接続人口	932,565 人	うち今期中増加接続人口	1,044 人
整備面積	12,268 ha	うち今期中増加整備面積	3 ha
今年度接続助成件数	13 件	うち今期中接続助成件数	8 件

水道事業

今期中の給水量は、2,318,594㎥となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	56,880 人
給水普及率	82.4 %	うち今期中増加給水戸数	73 戸
給水戸数	19,097 戸	うち今期中減少給水人口	51 人
給水人口	46,856 人		

配水状況

区分	前期中	今期中	計
給水量	2,354,433 ㎥ (2,404,716)	2,318,594 ㎥ (2,327,353)	4,673,027 ㎥ (4,732,069)
有収水量	2,321,657 ㎥ (2,337,437)	2,338,845 ㎥ (2,295,726)	4,660,502 ㎥ (4,633,163)

（　）は前年同期の状況です。

経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	21,320	－	－	－	21,320	18,956	88.9%		
収益的支出	21,594	－	－	－	21,594			20,888	96.7%
資本的収入	3,415	－	－	762	4,176	3,663	87.7%		
資本的支出	4,132	－	－	762	4,894			4,343	88.7%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	30,971	－	－	－	30,971	30,251	97.7%		
収益的支出	29,813	－	－	－	29,813			28,277	94.8%
資本的収入	15,724	－	－	3,004	18,728	13,318	71.1%		
資本的支出	25,736	－	－	3,011	28,747			23,515	81.8%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

（単位：百万円）

区 分	予算現額					収入		支出	
	当初予算額	補正予算額（上期）	補正予算額（下期）	繰越事業繰越額	計	執行額（累計）	執行割合（累計）	執行額（累計）	執行割合（累計）
収益的収入	2,194	－	－	－	2,194	2,152	98.1%		
収益的支出	2,185	－	－	－	2,185			2,134	97.7%
資本的収入	1,011	－	－	－	1,011	868	85.9%		
資本的支出	1,925	－	－	－	1,925			1,818	94.4%

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

（単位：百万円）

企業会計名	現在高	借入先			
		公的資金			民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	
病院事業	21,345	13,259	1,370	4,662	2,054
下水道事業	245,851	63,047	41,017	97,672	44,115
水道事業	20,324	13,733	0	5,435	1,156
合計	287,520	90,039	42,387	107,769	47,325

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので、合計等が一致しない場合があります。

一時借入金の現在高

（単位：百万円）

企業会計名	予算で定められた限度額	前期末残高	今期中借入高	今期中償還高	今期末残高
病院事業	2,500	0	1,000	1,000	0
下水道事業	15,000	0	0	0	0
水道事業	1,000	0	0	0	0

（注）起債前借分については除外しています。

Ⅴ　平成28年度当初予算の概要

１　編成の基本的考え方

平成28年度予算の編成にあたっての収支見通しでは、歳入において、自主財源の根幹を占める市税が、税制改正による法人市民税の減収もあり伸びを見込めない状況であったほか、国庫補助負担金や地方交付税などについては、国の予算編成の動向を見極める必要がありました。また、市債については、健全化判断比率などへの影響を踏まえ、可能な限り抑制する必要があったほか、財産収入などの臨時的な収入も多く見込めない状況でした。

一方、歳出では、生活保護費などの扶助費の増加が見込まれたほか、介護、子育ての分野などで、急速に進展する少子・超高齢社会への的確な対応が求められたことなどから、多額の財政需要が見込まれ、予算編成方針を策定した昨年10月の時点では、厳しい財政見通しとなりました。

そこで、平成28年度当初予算は、次の２項目を予算編成の基本方針とし、取り組むこととしました。

（１）財政健全化に向けた取組み及び行政改革の推進

財政健全化プラン及び行政改革の取組みを着実に推進するとともに、改善策については、的確に予算に反映させることとし､特に既存の事務事業については、既成概念にとらわれない大胆な事業の整理・合理化など､徹底した見直しを図ります。

（２）第２次実施計画事業（マニフェストに関する取組み事業工程表に基づく事業を含む。）等の推進

２年度目である第２次実施計画について、事業費の精査を行ったうえで、事業の着実な推進を図るとともに、地方創生や東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組みについて、適切に対応を図ります。

上記の基本方針のほか、国の「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等」に呼応し、地方活性化のための事業や、教育環境の整備に係る経費などを２月補正予算に計上して、平成27年度から28年度にかけて切れ目なく実施します。

2　予算の内容

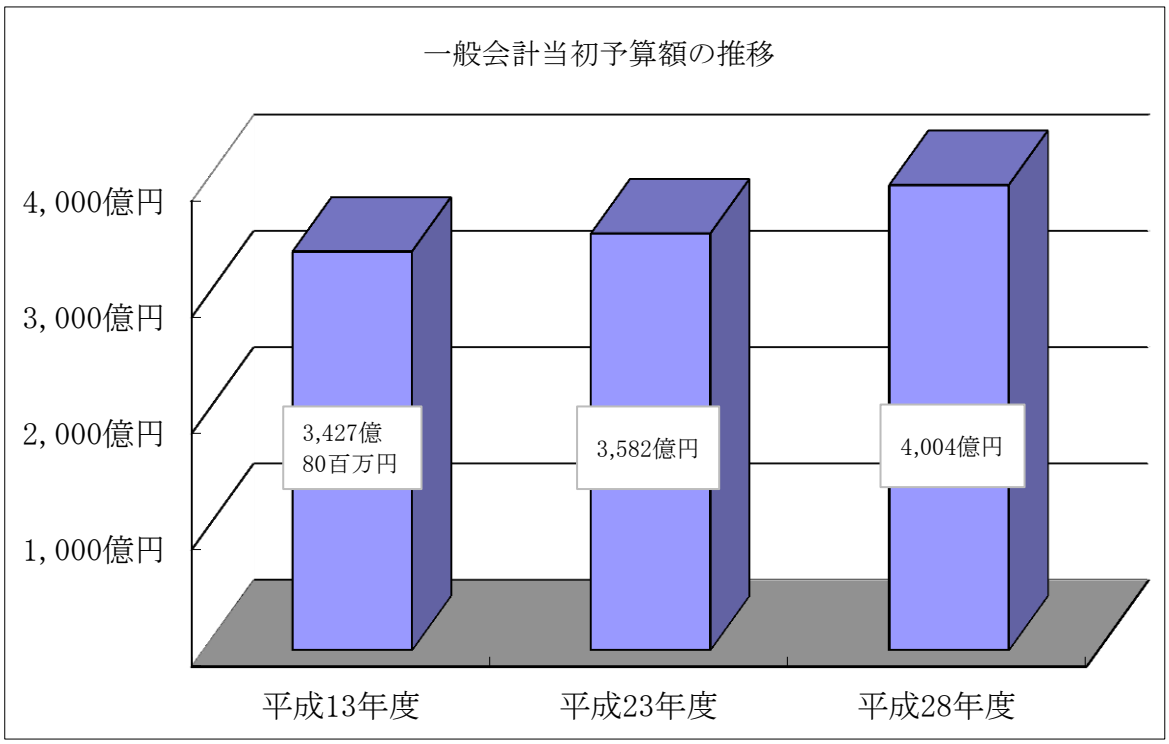
(1) 予算の規模

平成27年度	平成28年度
8,561億34百万円	8,372億20百万円
	（対前年度比2.2%減）

平成28年度一般会計の歳入歳出予算は、4,004億円で、前年度と比較して102億円、2.6%の増となっています。

特別会計（企業会計を含む）17会計は、公債管理会計や動物公園事業会計などで減額となることから、総額4,368億20百万円で、前年度と比較して291億14百万円、6.2%の減となっています。

以上、全会計を合わせた規模は、8,372億20百万円で、前年度と比較して189億14百万円、2.2%の減となっています。



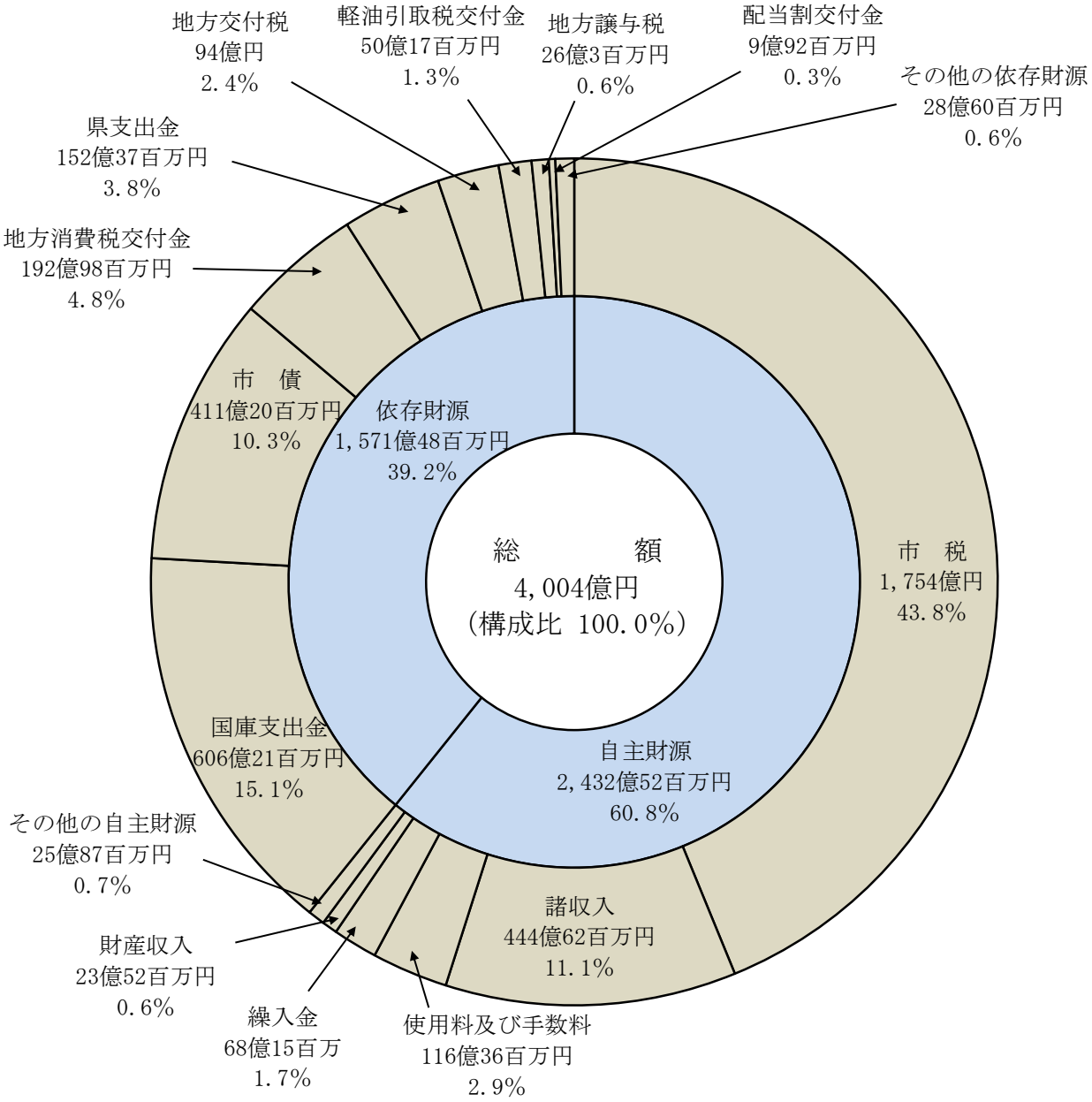
(2) 一般会計予算

（ 歳 入 ）

歳入予算の主なものとしては、市税が1,754億円、構成比43.8%と、歳入の根幹を成しています。

次いで、国庫支出金が606億21百万円、構成比15.1%となっています。

この他、諸収入444億62百万円、構成比11.1%、市債411億20百万円、構成比10.3%となっており、以下、地方消費税交付金、県支出金、使用料及び手数料、地方交付税の順となっています。



自主財源と依存財源

・自主財源とは、市税や使用料等のように市が自主的に収入するものです。

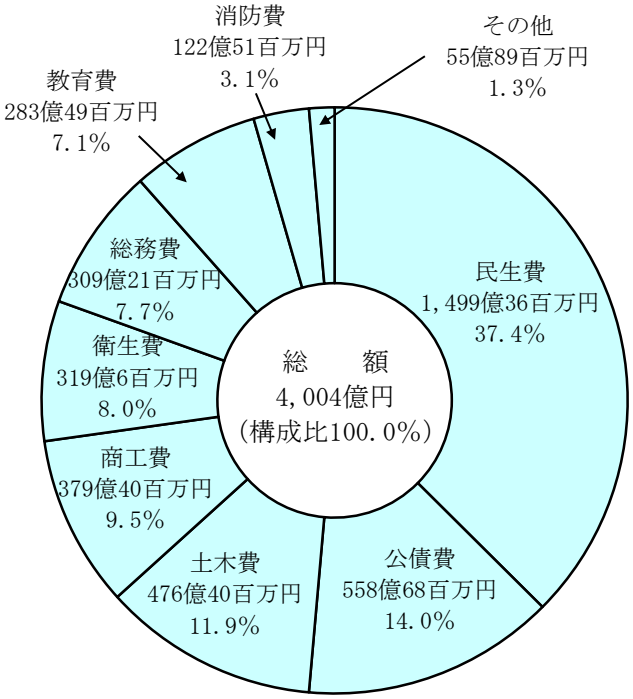
・依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税の主な内訳

税　目	予算額	構成比
市　民　税	817億96百万円	46.6%
固 定 資 産 税	678億28百万円	38.7%
都 市 計 画 税	124億93百万円	7.1%
市 た ば こ 税	70億9百万円	4.0%
事　業　所　税	52億89百万円	3.0%
そ　の　他	9億85百万円	0.6%
計	1,754億円	100.0%

（ 歳 出 ）

目的別の内訳



歳出予算の主なものとしては、民生費が最も多く、1,499億36百万円、構成比37.4%となっています。

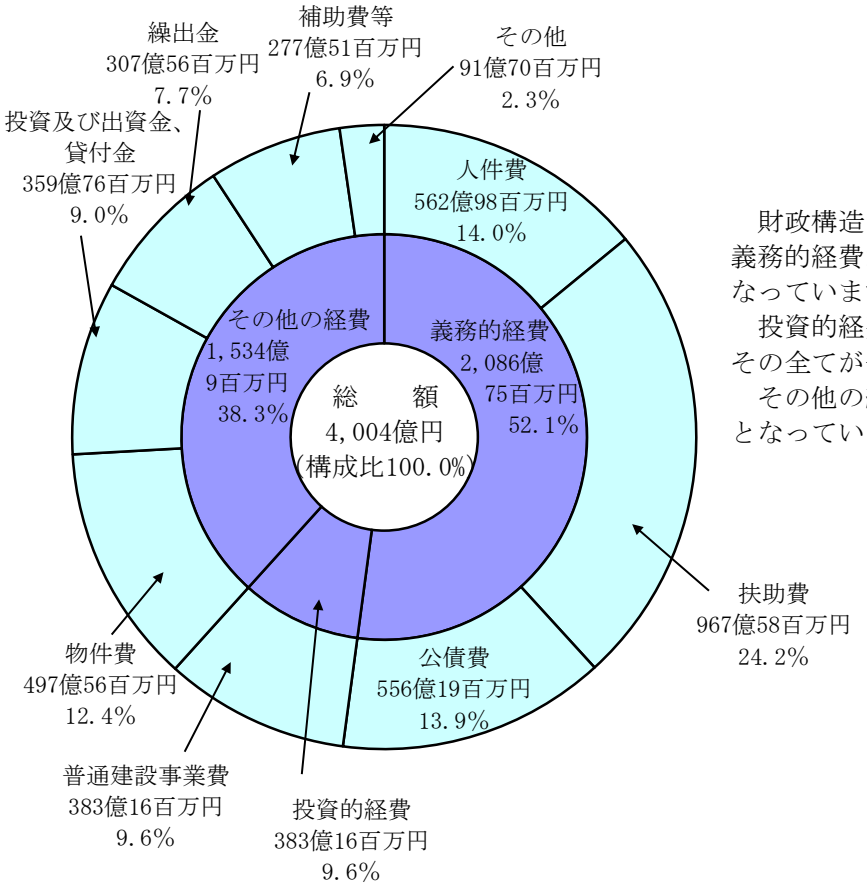
次いで、公債費が558億68百万円、構成比14.0%、土木費が476億40百万円、構成比11.9%、以下、商工費、衛生費、総務費、教育費、消防費の順となっています。

目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。

性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

性質別の内訳



財政構造の面から歳出予算を性質別でみますと、義務的経費が 2,086億75百万円、構成比52.1%となっています。

投資的経費は、383億16百万円、構成比9.6%で、その全てが普通建設事業費となっています。

その他の経費は、1,534億9百万円、構成比38.3%となっています。

(3) 特別会計予算

平成28年度の企業会計を除く特別会計14会計の予算総額は、3,494億2百万円となっています。

主な会計としては、公債管理が1,403億33百万円、国民健康保険事業が1,107億48百万円、介護保険事業が665億44百万円、競輪事業が127億44百万円となっています。

（単位：百万円）

区分 / 会計名	平成28年度 当初予算額 (A)	平成27年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
公債管理	140,333	175,326	△ 34,993	△ 20.0%
国民健康保険事業	110,748	110,913	△ 165	△ 0.1%
介護保険事業	66,544	62,472	4,072	6.5%
競輪事業	12,744	13,332	△ 588	△ 4.4%
後期高齢者医療事業	10,226	8,869	1,357	15.3%
学校給食センター事業	2,497	2,505	△ 8	△ 0.3%
市街地再開発事業	1,237	1,373	△ 136	△ 9.9%
地方卸売市場事業	1,146	971	175	18.0%
動物公園事業	1,136	1,775	△ 639	△ 36.0%
霊園事業	825	841	△ 16	△ 1.9%
公共用地取得事業	630	819	△ 189	△ 23.0%
農業集落排水事業	506	501	5	0.8%
都市計画土地区画整理事業	495	533	△ 38	△ 7.0%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	335	319	16	5.1%
合計	349,402	380,549	△ 31,147	△ 8.2%

(4) 企業会計予算

平成28年度の企業会計の予算総額は、874億18百万円となっています。

（単位：百万円）

区分 / 会計名		平成28年度 当初予算額 (A)	平成27年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	増減率 (C)／(B) (D)
病院事業		26,379	25,726	653	2.5 %
	収益的支出	23,162	21,594	1,568	7.3
	資本的支出	3,217	4,132	△ 915	△ 22.1
下水道事業		57,086	55,549	1,537	2.8
	収益的支出	29,670	29,813	△ 143	△ 0.5
	資本的支出	27,416	25,736	1,680	6.5
水道事業		3,953	4,110	△ 157	△ 3.8
	収益的支出	2,361	2,185	176	8.1
	資本的支出	1,592	1,925	△ 333	△ 17.3
合計		87,418	85,386	2,032	2.4
	収益的支出	55,192	53,592	1,600	3.0
	資本的支出	32,225	31,794	432	1.4

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄、割合及び増減額が一致しない場合があります。

平成28年度の経営方針

病院事業

平成28年度の業務の予定量は、青葉病院が入院患者で120,252人、外来患者で215,286人であり、また海浜病院は入院患者で92,450人、外来患者で160,943人を予定しています。より効果的な運営を行い、地域の中核的な病院として良質な医療の提供に努めていきます。

下水道事業

平成28年度の業務の予定量は、汚水処理世帯数422,171世帯、総処理水量122,990,385m^3、一日平均処理水量336,960m^3を予定しています。

より安全で快適な都市環境を実現するため、浸水の防除及び公共用水域の水質の保全、衛生的な生活環境への改善などを着実に推進します。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努めていきます。

水道事業

平成28年度の業務の予定量は、給水戸数19,276戸、総給水量4,932,446m^3（１日平均給水量13,514m^3）となっています。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減を図り、効率的な事業経営に努めていきます。

平成28年６月

市の財政（財政状況の公表）

平成28年６月１日発行

編集発行　　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。
http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/index.html